

2024年「福木ふれあいひろば」の取り組み

10月5日(土)11時から「福木ふれあいひろば」が福木小学校と福木中学校で行われ、福田地区防災士会から15名の防災士が福田地区自主防災連絡協議会の役員とともに参加しました。今年は馬木地区の防災士の方も4名参加され、合計24名の参加となりました。また、福木中学校から中三の生徒6名もボランティアで参加してくれました。5月の中学校の防災講座では段ボールベッドづくりなどをしたと話してくれました。

グラウンドでは例年のアルファ化米(200食)の配布に加え、西日本豪雨、能登半島地震、福木学区の活断層などの写真を展示。防災食は配布開始1時間ほどでなくなるほどの好評でした。災害写真を展示したテントの中では、集まってくれた中学生を前に安部さんがミニ防災講演を始め、これが好評。体育館では避難所の模擬展示に加え、防災工作コーナーを設置。レインコートづくりや防災スリッパづくりを行ったほか、段ボールベッドの組み立ても行い、やってきた親子連れなど7、8人で楽しく行い、実際に出来上がったベッドの上に寝てみて、意外と丈夫で快適なことなど実感していました。

今回の取り組みでは馬木地区の防災士の方たちの参加もあり、今後の福木学区での防災士の活動の拡大が期待される取り組みとなりました。
(記責越智、写真播野・越智)



防災展示 グラウンド↑ 体育館↓

防災工作↓ 防災食づくりと配食準備↑ 段ボールベッド↓



防災工作で
作ったレイン
コートを着た
子どもたちも
参加しました



テントで行ったミニ防災講演

最後に体育館の前で記念撮影